温(おん)かな通信

2020年度(令和2年度)　秋号

KCCCA 神奈川県地球温暖化防止活動推進センター
NPO法人　かながわアジェンダ推進センター

「ウィズコロナで地球温暖化防止活動は、どう変わるの?」

●現在、世界中で猛威を振るっている「新型コロナウイルス感染症」は、私たちの「行動様式」に大きな変化を求めています。「三密への対応(密閉・密集・密接)」や「ソーシャルディスタンスの確保」など感染予防のため、これまで経験したことのない新たな「ライフスタイル」が必要となっています。

そんな中で、私たちの活動形態は、これまでのように「会話」や「対面」を中心として行ってきた「普及啓発活動」とは異なる新たな「活動の展開」も求められてきています。

それでは、「ウィズコロナ」社会において、「地球温暖化」に関わる活動を進めて行くには、新たにどんな「対応」や「心構え」が必要なのか考えてみましょう。

1【健康の保持・管理】

活動をしていくためには、まず自己の健康管理が基本となります。特に、対面方式による普及活動を行う場合には、他人への感染を回避するためにも自己の体温の把握や持病など、健康の保持・管理をしておくことが必要です。

2【活動上の感染防止策】

(1)普及活動に当たっては、飛沫感染及び接触感染への予防のため、特に、イベント会場での人と人との一定の距離をとること(ソーシャルディスタンス 社会的距離)やフェイスガード(フェイスシールド、マスク)の着用や手指の消毒をこまめに行います。

(2)講座等を開催する場合には、特に、会議室等利用の閉鎖空間では、咳やくしゃみ等の症状がなくても感染を拡大させるリスクがあるとされていることから、換気の確保や座席の配置等において一定のディスタンスを確保するようにします。

(3)イベントなどの会場においては、無症状者からの感染の可能性も指摘されています。特に、ブースを設置する場合などは、透明フィルムやアクリル板などによる間仕切りを行うなど飛沫防止策を講じておきます。

3【その他の方法】

(1)オンラインによる普及活動

現在、「コロナ」を契機として、いろいろな業種や職場においてオンラインを利用した業務の形態が普及しています。実際、当センターにおいても、ズームによる「温暖化に関わる各種会議」や「小学生対象の子供環境教室」などの事業を実施しています。

また、インターネットのSNSを活用し、「エコドライブ利用実態調査」や「気候変動に関わる意識調査」の実施など、広く県民を対象とした普及啓発事業も行っています。

(2)広報媒体による普及

今年度はコロナ感染対策として、市町等が実施している「環境イベント」が軒並み中止を余儀なくされています。代わりに、温暖化の普及啓発の手段として、市町の「広報」や、自治会の「回覧チラシ」等の活用が「対面」の必要がなく安全に情報の発信や提供が行われています。特に、「講座」や「キャンペーン」の開催など、市町の行政と連携して行っていくことが感染予防の上からも効果的な方法と考えられます。市町や地区単位の推進員の仲間で企画し、実施してみるのも一つの方法です。

神奈川県地球温暖化防止活動推進センター主催事業紹介コーナー

「コロナ禍における地球温暖化防止活動推進員の活動のあり方!」
みんなで考え、行動しましょう。

第7回神奈川県地球温暖化防止活動推進員大会を開催します。

現在、世界的大流行（パンデミック）で収束の気配すら見えない「新型コロナウイルス感染症」の蔓延は、私たちの「待ったなしの地球温暖化防止活動」に大きな影響を与えています。

今年度の大会は、「ウィズコロナ時代の新しい生活様式」が求められている中、「私たちの活動のあり方について共に考え、行動に繋げていくきっかけとなる」大会として開催します。基調講演の江守　正多講師からは、「コロナ」と「温暖化」との関わりについて、特別コメントをいただく予定となっています。奮って参加しましょう。

開催日時：11月25日（水）13時30分～16時
開催場所：かながわ県民センター　2階ホール（横浜駅西口）
《大会テーマ》「コロナ禍における地球温暖化防止活動のあり方！」
《基調講演》
「気候危機・コロナ危機と社会の大転換」（ビデオ）
国立環境研究所　地球環境研究センター
副研究センター長　江守　正多
《講　　座》
「神奈川県におけるSDGsの取組」神奈川県政策局SDGs推進課
「神奈川県の地球温暖化対策の取組」神奈川県環境農政局環境計画課
《大会宣言》
主　　催：神奈川県地球温暖化防止活動推進員連絡協議会
神奈川県地球温暖化防止活動推進センター

令和2年度神奈川県地球温暖化防止活動推進員スキルアップ研修講座を開催します。

ズーム会議

本研修は、日ごろ推進員が温暖化防止にかかわる地域での普及啓発活動を展開していく上において、必要な知識の醸成を目的として開催します。

開催日時：12月11日（金）13時30分～14時40分
開催場所：かながわ県民センター　9階 かながわアジェンダ推進センター
《内　　容》
「世界の再生可能エネルギーの現状と日本の風力発電」
京都大学大学院　経済学研究科
再生可能エネルギー経済学講座　特任教授　安田　陽
主　　催：神奈川県地球温暖化防止活動推進センター

※今回の講座はコロナ対策として、「ズーム会議」形式で実施します。ご家庭のパソコンを通じて講座の聴講が可能となりますので、積極的に参加願います。

子ども環境教室を開催しています。

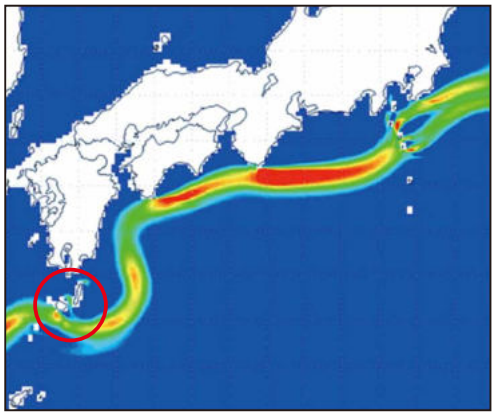
かながわアジェンダ推進センターでは、毎年「小学生対象の環境教室」を出前講座として開催していますが、今年度は「コロナ対策」として「ズーム」を利用したオンラインで開催しています。あらかじめ申し込みがあったお宅へは、「キット」などをセンターから無料で送り、当日は、講師がオンラインで作り方などの指導をします。自宅での工作づくりですので気軽に参加できます。※詳しい内容は、当センターのホームページをご覧ください。

先月の「温かな通信　エネルギー特集号」にて、CO2 を大幅に削減できる技術のうち、もうすぐ実現しそうなものを幾つかご紹介しましたが、今回は海洋エネルギーの中の海流を利用した発電についてご紹介いたします。

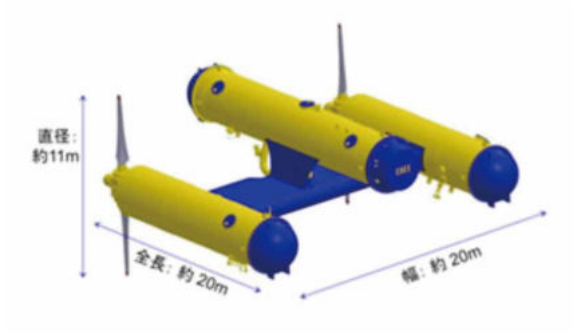
海流発電

海流は、風力とは異なり天候や季節による変化が少なく、年間を通じて利用できる安定したエネルギーです。特に、日本列島の太平洋側を流れる黒潮は世界的にみても有数の強い海流であり、そのエネルギー量は約205GW（2億5百万KW、原子力発電約205基相当）に達すると試算されています。従って、将来の日本のエネルギーを担う有望な再生可能エネルギーとして期待されてはきたものの、その研究は進んでいませんでした。

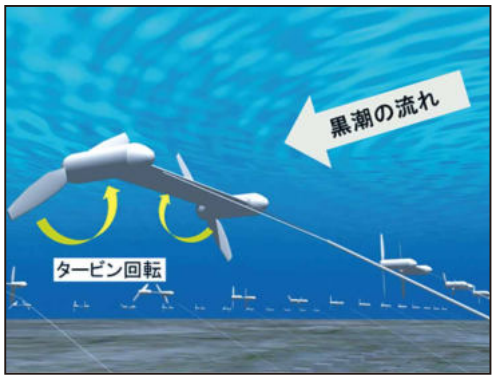
そこで、NEDOはIHIと共同で2011年度から水中浮遊式による海流発電システムの研究開発に取り組んでいます。2019年8月には100KW級の実証機「かいりゅう」がIHI横浜事業所で完成し、2019年秋から鹿児島県十島村口之島沖で実証運転を行っています。海流の速さは秒速約1.5mで、船の航行を妨げないように、海底に固定されたワイヤーロープに引っ張られて凧のように水深約50m付近を浮遊しながら発電します。



黒潮と口之島（○印）



100KW級の実証実験機



将来の水中浮遊式海洋発電イメージ

出典：https://www.ihi.co.jp/ihi/all_news/2017/technology/1190412_1639.html

ユニークなマグロ型プロペラ発電機に挑戦しているのが兵庫県のベンチャー企業ノヴァエネルギー（鈴木清美社長）です。実験室にて様々な試作品を作成して試行錯誤を繰り返した末にマグロ型プロペラへ行き着き、漁船に曳航させて実証実験をしていましたが、朝日新聞デジタルによれば、2010年に明石海峡へ直径３メートル、長さ６メートルの10キロワット発電機を２基設置されたようです。

出典：http://actio.gr.jp/wordpress/wp-content/uploads/2012/05/Actio1309nova.pdf
http://www.asahi.com/eco/OSK201006160109.html

文責：松本聖一（NPO法人　かながわアジェンダ推進センター理事、アドバイザー）

かながわ環境活動支援コーナー貸し出しリスト一覧

環境測定器　貸出無料（2週間以内）

ワットアワーメーター

電化製品の消費電力や待機電力、それに伴う電気料金や二酸化炭素排出量が測定できます。

放射線測定器

放射線量を測定します。

省エネナビ（貸出期間:1ヶ月）

毎日の総電力消費を1時間毎に記録します。同時に指定した量を超えると教えてくれます。

温度記録計

気温を自動記録します。記録間隔は用途にあわせて15通りから選択できます。

デジタル温度計

気温をデジタル表示します。

赤外線放射温度計（小）

赤外線を照射して温度を測定します。

CO_2濃度計

大気中の二酸化炭素濃度を測定します。室内換気の目安等としてお使いいただけます。

マルチ計測器

風力測定、温度測定、湿度測定、照度測定ができます。

電球比較機（LED・蛍光灯・白熱）

アルミケース収納型

赤外線放射温度計（大）

赤外線を照射して温度を測定します。

節電家族

電球（LED・白熱）によるエネルギー（力）比べ

節電や省エネなど環境に配慮したライフスタイルの「見える化」にお役立てください!

環境関係DVD

（収録数：58本）

貸出無料（2週間以内）

題名（主な作品）

- 解決！地球温暖化！
- エコドライブは一石三鳥
- 地球温暖化 今、私たちにできること
- 視聴覚障害者向けDVD 地球温暖化 今、私達にできること
- 省エネ照明と暮らしのあかり
- 見直そう私たちの暮らし
- 学ぼう地球温暖化
- 夏の節電対策ビデオ
- こどもエコクラブ　できること からはじめる環境学習
- 家庭の省エネ診断マニュアル（マニュアル付）

※その他に、環境関係図書の貸出もしています。（蔵書数206冊）

環境活動団体紹介

低炭素社会を目指して　「いせはらEco21」

「いせはらEco21」は、伊勢原市内居住の地球温暖化防止活動推進員が集い、家庭で取り組める身近な温暖化対策を促進する環境団体として、2011年4月に設立しました。主な活動として、「省エネ・再エネ・蓄エネ」等の普及啓発を推進しています。特に再生可能エネルギーである「太陽光・水力・風力・バイオマス」発電装置の模型を手作し、子供達が触れて動かし楽しく環境学習ができる手法を整えました。また主婦の皆様には知恵と工夫の節電により、家計の節約にもつながる家電器具類の電力量を確認してもらう「見える化」をはかり、家庭における低炭素削減の結び付け活動を行っております。

親子で再生可能エネルギーの勉強

編集後記

全世界を覆いつくしている新型コロナウイルス。日本において私たちも経験したことのない緊迫した状況がずーっと続いています。当センターでも8月から一度も理事会を開催することもできずいましたが、9月の理事会はZOOMでの会議を開催しました。7ケ月ぶりに皆さんのお顔を拝見しホッとしたところです。参加された理事さんからは好評をいただきました。夏には「子ども環境教室」をオンラインで開催しました。私たちがオンライン会議や授業をするとは、昨年までは全く考えていませんでしたが、世の中の状況に応じた対処が必要になりました。これからの日本もデジタル化などで、大きく変わっていきますが、どんな状況にも対応できる柔軟な心が一番必要とされていますね。この先、どんな世界になるのか楽しみでもあります。

編集・発行

発行日　2020年 11月 13日

神奈川県地球温暖化防止活動推進センター／特定非営利活動法人かながわアジェンダ推進センター

〒221-0835　横浜市神奈川区鶴屋町 2-24-2 かながわ県民センター9階

TEL：045-321-7453　FAX：045-321-7454　URL：http://www.kcccca.jp　E-mail：info@kcccca.jp

閉館日：日曜日・祝日・県民センター休館日　開館時間：9：00～12：00 ／ 13：00～18：00

法人の活動を支えて下さる会員を募集しています！

年度会費　○正会員・個人 5,000円　○賛助会員・個人1,000円　詳しくは事務局までお問合せください。